



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺宇通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
HP アドレス http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011年-2012年 RI テーマ

- 会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
- 委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

第14回例会

平成23年10月12日(水) サンパレス福島

■メークアップ/26名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/41名 ■出席率/61.20%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 地区セミナー報告
米山奨学委員会
高橋 正一副委員長
- 4 地区ゲストスピーチ
職業奉仕委員会
篠木 勝司委員長
- 5 閉会点鐘

例会終了後 第5回理事会
福島成蹊高校 IAC 例会

今月・来月のプログラム

- 10月19日(水) 東京麹町 RC と福島南 RC 姉妹クラブ調印式
ゲストスピーチ東京麹町 RC 河合 弘之氏
- 10月30日(日) 大声杯リトルリーグ
あづま球場 午前8時30分(集合午前8時)
- 11月9日(水) 地区ゲストスピーチ
ロータリー財団委員会 平井 義郎委員長

今週のトピックス

心配された米の放射性被害について、出荷可能として安全宣言が出された。まずは、朗報として受け取りたい。

◆会長あいさつ◆ 高橋 和之 会長



ロータリーの友10月号に、RIのカルヤン・パネルジー会長が『バンコクで会いましょう』とのメッセージが掲載されております。5月6日～9日に開催されます2012年RI国際大会のお誘いの記事です。我が福島南RCの国際奉仕委員会では、すでにタイのバンコク国際大会経由で国際奉仕旅行を企画しております。私は、昨年6月カナダのモントリオール国際大会に参加させて頂きましたが、スケールの大きさや国際的ロータリーの魅力に触れて大変感動した覚えがあります。今年度は多くの皆さんと一緒に、バンコク国際大会と国際奉仕旅行を楽しみたいと思います。多くのご参加を期待しています。詳しくは10月26日の例会で菅野良二国際奉仕委員長のスピーチで紹介されると思いますのでご清聴下さい。

今日は、篠木地区職業奉仕委員長のゲストスピーチです。今日は職業奉仕月間でありまして、ロータリーの友の10月号にも「職業奉仕を考える」の特集が掲載されております。ロータリーの土台といわれる職業奉仕について、大いに学び合ひましょう。篠木委員長よろしくお願ひ致します。

さて、来週19日の例会は、東京麹町RCとの姉妹クラブ締結式例会です。ロータリー情報委員会が中心となって、一連の対応を検討して頂いております。皆さんには、事務局からすでにご案内されていることですが、概要について簡単にご案内致します。19日の当日、東京麹町RCさんから植芝会長さんと松本幹事さんはじめ、総勢18名の皆さんがいらっしゃる予定です。例会の中で姉妹クラブ締結の調印式を執り行います。そして昼食を挟み、ゲストスピーチとして、東京麹町RC会員の河合弘之弁護士さんの卓話がございます。例会はいつもの通り1時間で終了致しますが、その後、マイクロバスで相馬方面へ被災地視察を行います。夜は高湯温泉で懇親会を行い、姉妹クラブの杯を交わす予定です。翌日は、紅葉真っ盛りのスカイライン観光で福島の良さをご案内したいと思います。

時間の許す方は、是非、一緒に親睦を深め合っ頂きたいと思ひます。

◆地区セミナー報告◆

米山記念奨学会委員会 高橋 正一副委員長



9月25日の米山記念奨学会委員会セミナーの報告を致します。

まずは、『第2530地区 米山記念奨学会活動について』と題した米谷記念奨学会の

関盛夫委員長によるセミナーでした。

米山記念奨学事業は、「ロータリーの理想とする相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために、優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献すること」を目的とした日本独自の奨学制度です。これまでに、120カ国約450億円の奨学金で約16,000名の奨学生を輩出しました。

また、今回の震災に対して、海外の米山学友から総額1億円の義援金が寄せられました。それは、約1,000名の全く個人の名前での寄付だったという内容でした。

次に、米山記念奨学会推進委員会の手代和之委員長による『米山記念奨学会多地区合同奉仕活動と米山奨学会の歩みについて』のセミナーでした。

ロータリー米山記念奨学事業は、国際ロータリーに承認された数少ない多地区合同奉仕活動です。

2004年11月のRI理事会で「米山記念奨学委員会」が取り上げられ多地区合同奉仕活動であることを確認し、2004-5年度地区ガバナーがそれぞれ地区内全てのクラブから同意を得たことによりRIから正式に承認されました。2011-12の米山記念奨学会の寄付金目標設定は、根本ガバナーの依頼により、普通寄付金 年間 5,000円
特別寄付金 年間 11,000円 計 16,000円
となっているとのことです。

◆ゲストスピーチ◆

地区職業奉仕委員会 篠木 勝司委員長



今年度の私の職業奉仕のテーマは、『4つのテストを深耕しよう』ということです。

私が商人として歩み出した頃、辿り着いたのが松下幸之助さんが著した

『商人の心得』でした。その中で“お客様のために、この電器を作ったら喜ばれるだろう、良いものを作ろう、そして、お客様に喜ばれよう”というものがありません。そして、ロータリーに入会し、4つのテストの“みんなのためになるか、どうか”が、松下幸之助さんの真髄に通じるものと感じました。そのような背景から、職業奉仕委員会を担当する今年のテーマは“4つのテストを考えてみよう”としました。4つのテストは、商売の真髄として考えらる素晴らしいもの。その意味から、全クラブでの唱和、石碑設置等でロータリークラブの内外への発信、小中学生などへ理解を深める講義等、名刺などへの転用、お互いの職業を見つめ合い相互扶助で友情を深めることを大切にするロータリアンとしてのプライドの再認識など5つの実践を掲げ、もっと深く勉強する1年にしたいと思ひます。

『職業奉仕の理念と実践』について、職業奉仕の原点はシカゴのマフィア時代に遡るといえます。それは、理念の確立とその時代背景にあるからです。職業奉仕の実践とは、即ち私たちの毎日の職業生活に他ならず、その理念は、1902年、アサー・フレンドリック・シェルドンがミシガン大学経営学部で専

攻した販売学を基本とします。つまり、私たちが職業奉仕と呼んでいるのは“自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば結果として継続的な事業の発展が得られる”という独自の考え方です。

ロータリーが創設された当時のシカゴは、無秩序な自由競争の下で、無法と腐敗の町でした。その中で、シェルドンは、職業を利用した物質的相互扶助に始まり、さらに、継続的に、利益を上げて事業を発展させるための企業経営の方法として職業奉仕を説いたのでした。



◆第5回理事会情報◆

例会終了後、サンパレス福島にて理事会が開催されました。

- IM 実行委員会組織について承認されました。
- 11月18日に東京麹町RCとの姉妹クラブ親善ゴルフを福島で行うことになりました。
- 国際奉仕委員会：福島大学で国際奉仕活動についての研修会が開催されます。
- 新世代奉仕委員会：成蹊高校 IAC 部長が大田あゆみさん(2年生)に替わりました。
- 幹事連絡
 - 斎藤浩会員が文部科学大臣褒賞を受賞されました。
 - 放射線量測定器の貸出を開始しました。

◆スマイリングボックス◆

篠木地区職業奉仕委員長のゲストスピーチに感謝して！
高橋 和之
地区ゲストスピーチ篠木勝司様ありがとうございます。
菅原 節子
篠木地区職業奉仕委員長の卓話に感謝して！

黒羽 好夫
来る10/26 静岡市で文部科学大臣表彰受賞することになったので。
斎藤 浩
篠木職業奉仕委員長スピーチを記念して。

鈴木 光一
篠木様本年度も地区役員ごころう様です。又、千葉先輩に久しぶりにお会い出来たので。 富田健三郎
篠木様 ご来訪ありがとうございます。林 克重
スマイル 36,000円 累計 610,000円
財団・米山 62,000円 累計 651,000円

～一週一言～ 事業は徳業なり

事業というのは、要するに人である。したがって、本当の事業は、事業でなくて「徳業」なのだ。会社の幹部になって事業を経営する人の人格、その気分、思想などが自然に集まって一つの社風というものをつくる。

―編集後記―

あんなに暑かった夏を懐かしむ秋の夕暮れ。どんな時も、季節は廻るのだなあと感じます。(丹治ト)